

## 第1回～第3回 ブータンフォーラム開催報告

都甲 由紀子 (大分大学教育学部)  
菊池 多絵 (日本ブータン刺繍協会)  
平山 雄大 (早稲田大学)  
佐保 好信 (JICA デスク大分)

### 【要旨】

2016～2017年にかけて3回のブータンフォーラムを別府市はなやもも・早稲田大学・大分市 iichiko 総合文化センターにて開催した。会期中は、2016年1月1日設立の日本ブータン刺繍協会のシンボルとなるエンブレムコンテストへの応募作品、グランプリの作品を刺繍にしたもの、ブータン刺繍作家の菊池多絵の刺繍作品、ブータン刺繍教室の生徒によるブータン刺繍作品、天然染織品・民族衣装とその資料、教育関係資料、写真パネル等を展示した。セッションにおいては、ブータン王国に関わる研究者、刺繍作家、青年海外協力隊経験者、ブータン人留学生等が登壇した。外交関係樹立30周年の2016年に開始して継続的に国内で場所を変えてブータン王国を紹介することができた。日本在住のブータン人、ブータン在住経験のある日本人の参加もあった。人々にブータン王国の魅力を伝えるだけでなく、日本在住のブータン関係者同士の交流を促進し、相互理解を深める上でも良い機会となった。

### 【キーワード】

ブータン王国 (Bhutan) 刺繍 (embroidery) 染織 (dyeing weaving) 教育 (education)  
国際理解 (international understanding)

### I. はじめに

日本とブータン王国は、2016年に外交関係樹立30周年を迎え、各種記念行事が開催された。外務省に申請して認定を受け、第1回ブータンフォーラムもその一環として開催した。ブータン王国の刺繍技術を修得している者たちによる交流が開催のきっかけとなった。仏教国のブータンでは、刺繍により制作された仏画が重宝される。菊池はゾーリッグ・チュスム工芸学校 (National Institute for Zorig Chusum) 刺繍科の留学生としての在籍経験があり、帰国後仙台と東京で刺繍教室を主宰しており、同年1月1日に日本ブータン刺繍協会を設立した。日本ブータン刺繍協会は、ブータンの刺繍を通して日本とブータンの人々がつながり、学びあい、理解しあい、より良い未来を楽しく作っていききたいという理念のもと、日本でブータンの刺繍を学ぶ人たちを中心に設立された。設立のきっかけとなったのは、2015年に首都ティンプーにあるゾーリッグ・チュスム工芸学校にて開催した日本人によるブータン刺

繡作品展である。日本人がブータンの刺繡に敬意とあこがれをもっていることを伝えたいという思いから開催された。この作品展がきっかけで交流が始まり、2016年4月22日に交流のシンボルとなるエンブレムを決めるコンテストを同工芸学校で開催したところ、「平和と友情」をテーマに45名の学生から51作品の応募があった。都甲は菊池の刺繡教室の門下生経験があり、刺繡展とコンテストともに参加したことから、菊池と都甲の発案で別府市にて第1回のブータンフォーラムを開催することになった。バラエティーに富んだ作品のすべてを展示し、作品を掲載した冊子『日本ブータン刺繡協会エンブレム・デザイン・コンテスト』を作成して頒布した。その他にもブータンの写真等を展示し、ブータン関係者が研究成果や活動を発表する場としてセッションを設けることにした。発表者としてブータンの近代学校教育史を研究している平山を招き、ブータン渡航経験のある JICA 九州の佐保も加わって1回目を実現した。その後、第2回を平山、第3回を佐保が中心となってブータンフォーラムが発展的に開催された。本報では、3回のブータンフォーラムの内容を報告する。

## II. ブータンフォーラムの開催

### 1. 第1回ブータンフォーラム

2016年10月8日(土)・9日(日)の2日間、大分県別府市(富士屋 Gallery 一也百-はなやもも-)にて第1回ブータンフォーラムを開催した(写真1)。大分大学都甲研究室主催、日本ブータン刺繡協会共催により、ブータン刺繡作品&日本ブータン刺繡協会エンブレムデザインコンテスト展とセッションを開催した。展示会場には、日本ブータン刺繡協会のシンボルとなるエンブレムコンテストへの応募作品、グランプリの作品を刺繡にしたものを展示した。合わせて、菊池の刺繡作品、ブータン刺繡教室の生徒によるブータン刺繡作品を展示した。セッションでは、「あたらしい教育、伝統の継承」をテーマに、菊池多絵「ブータンの刺繡～絹糸でえがく仏教美術」、都甲由紀子「ブータンのラック・カイガラムシ染め」、平山雄大「ブータンの学校教育政策－歴史と現状－」、立命館アジア太平洋大学のブータン人留学生ソナム・ペデン、ペマ・ツェリン、ジャナ・ペルゾム「ブータンの学校生活」の発表があり、佐保の司会でフリートークが行われた。同日、同会場において、日本ブータン研究所による第58回ブータン勉強会も開催され、平山雄大「映像で見る1960年代のブータンと同国の学校教育」、都甲由紀子「日本の赤、ブータンの赤－天然染色の教材開発－」の発表があった。のべ50名ほどの参加があった。

#### 【セッション参加者の感想】

- ◆ 刺しゅうの色彩、初めて見て強い印象を受けました。強烈で刺激的でした。学校教育では英語で歴史を学ばれていることに大変興味を持ち、ブータンの言語を聞いてみたいと思いました。
- ◆ 宝珠などの意味説明があり良かったです。染色の説明(現地)が詳しく、カイガラムシも見れたのはより良かったです。教育の流れも声が大きくてわかりやすかった。

- ◆ 平山さんのお話では、文化、教育、歴史に触れることができ、ブータンへの興味が高まりました。もっと話を聞きたいと思いました。都甲先生のお話では、染色のおもしろさを実際にきけてよかったです。
- ◆ カイガラムシで食・衣・文化が繋がっていく、興味深いです。刺繍のモチーフに意味があり、生活と一体になっている、とても面白く楽しかったです。ありがとうございました。ブータンの衣食住について、今と昔を知りたいです。
- ◆ ブータンという国名しか知らない私が、民族衣装を通して興味を広げることができました。学校教育のお話も大変興味深かったです。
- ◆ 想像していた「ブータン」と今回のフォーラムで知ったブータンは大きく異なっていたのでとても興味が湧きました。実際に訪れてみようと思いました。文化について知りたいと思いました。
- ◆ どこにあるかも知らなかった国ですが、少し身近に感じるようになりました。何も知らないので色々なことを知りたいと思います。

#### 【展示観覧の感想】

- ◆ ブータンはまだ行ったことがありません。ネパールで見た仏画と多くの共通点があると感じました。ブータンで文化的遺跡や仏画、曼荼羅などは見たいと常に思っていますがー。ブータンの衣は仏教のために仏像、仏画があり、純粋アートは存在しない（し難い）と聞いています。宗教（仏教）と芸術の関係を知りたいと思っています。
- ◆ 美しい刺繍を珍しい図案で作っていてよかったです。仏教系に限らず、日常生活の中にあるデザイン（例えば農具、家具、家の造りの部分的な造形）や、手作りに使われてきた素材（木の種類、つた、つるなど）とその作品などについてもっと知りたいです。
- ◆ 図案がブータンを感じさせます。綺麗です。綺麗な自然をもっと見たいです。
- ◆ ブータン刺繍は初めて拝見いたしました。素晴らしい作品ばかりでブータン民族の精神性、芸術性、宗教性を感じることができました。
- ◆ 繊細で、色づかいがとても斬新で、私の感性にはないものばかりでした。特にデッサンで優勝された方の作品には感銘を受けました。お祭りや祈りについてもっと知りたいです。
- ◆ 美しい。ブータンの時の流れを感じる。

## 2. 第2回ブータンフォーラム

2017年5月19日（金）～6月1日（木）、第2回ブータンフォーラムを開催した（写真2）。日本ブータン研究所主催、日本ブータン刺繍協会、大分大学都甲研究室共催で、展示会とセッションを開催した。会期中、早稲田大学27号館地下1階ワセダギャラリーにて、日本ブータン刺繍協会会員の作品、ブータンの教科書等教育に関する資料、天然染料で染められた糸や織物、エンブレムコンテストへの応募作品を展示した。来場者は述べ300名ほどであった。

2017年5月20日(土)早稲田大学3号館704号室にて早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)提供グローバルエデュケーションセンター(GEC)設置科目「ブータン地域研究」と連携し、公開講座として第2回ブータンフォーラムセッションを開催した。「ブータンから学ぶ,ブータンから受け取る」をテーマに,菊池多絵「エンブレムデザインコンテストの応募作品から読み解く,ブータン人の日本への想い」,橋本智美「ブータンでの日々ー伝統工芸学校で学んでー」,西田文信「ブータンにおける少数言語の現状ー記録,継続,再活性化ー」の発表,都甲の司会で総括討論が行われた。参加人数は約65名,うち授業履修生は20名であった。

#### 【参加者の感想】

- ◆ なかなかブータン留学を経験されたかたのお話を伺う機会がなかったので,学校生活や現地の日常が垣間見れて良かった。(早稲田大学教育学部3年)
- ◆ 今回の講座は1人30分と短く,いつもより最後終わるときに心惜しさを感じるくらいに面白かったです。(早稲田大学文化構想学部1年)
- ◆ 特に,実際に現地で体験したことや感じたことなどリアルなお話を聞いてよかったです。(他大学3年)
- ◆ 司会の方を含め,登壇してくださった3人の方々それぞれがとても個性的で,生き生きとしていらっしゃって,生命力みたいなものを感じました。ブータンに対する熱気が伝わってくる授業でした。(早稲田大学文学部2年)
- ◆ ブータンの人々の様子や雰囲気をも具体的に話していただいて,とても楽しむことができました。(早稲田大学人間科学部3年)
- ◆ 刺繍の話,言語の話を通してブータンという国に少し興味を持ちました。時間があっという間に過ぎました。(一般)
- ◆ 無料で予約なしの講座で,参加しやすかった。(一般)

### 3. 第3回ブータンフォーラム

2017年10月14日(土)・15日(日)の2日間,大分県大分市(iichiko総合文化センター地下1階,県民ギャラリー,映像小ホール)にて第3回ブータンフォーラムを開催した(写真3)。JICA九州主催,日本ブータン研究所,日本ブータン刺繍協会,大分大学都甲研究室,おおいた国際交流プラザ共催で,県民ギャラリーでは「ブータン展」と題して,青年海外協力隊が撮影した写真や持ち帰った織物,染色,民族衣装,ブータン刺繍作品,日本ブータン刺繍協会エンブレムコンテストの応募作品を展示した。映像小ホールにおいて,植田清仁「青年海外協力隊として派遣されたブータンでの活動」,都甲由紀子「ブータン王国の染色(ラック・アカネ・ヤマボウシ)」,菊池多絵「エンブレムデザインコンテストの応募作品から読み解く,ブータン人の日本への想い」の発表があった。同日同会場で「第77回ブータン勉強会」が開催され,石内良季「ベユル・ケンパジョンとブータン人の環境志向ーブータン渡航報告を中心にー」の発表があり,ドキュメンタリー映画「幸せの経済学」の上映会も開催された。

#### 【参加者の感想】

- ◆ 「ブータン刺繍と布が美しかった。非常に興味深い内容の映画でした。」(20代)
- ◆ 「今の地域社会や日本の制度に？と思っている事が、映画に描かれていた。とても勉強になりました。」(30代)
- ◆ 「異文化について知ることが出来ました。青年海外協力隊の体験談も良かったです。スポーツの要請があることを初めて知りました。」(40代)
- ◆ 「ブータンを訪れたいとずっと考えていました。お話を聞いてとても参考になりましたし、更に興味を持つことが出来ました。」(50代)
- ◆ 「日本には日本の良さがあり、ブータンにはブータンの良さがある。互いに理解し合う事、認め合う事が大切だなと感じました。民族衣装のキラを着てみたいです。」(60代)

#### Ⅲ. おわりに

3回のブータンフォーラムの開催を、大学関係者、日本ブータン刺繍協会会員、JICA 関係者、ブータン人留学生等が協力し、それぞれの立場からブータン王国に関する活動を紹介しあい、情報共有することができた。立場が違ってもブータンに関わる者同士が協力することにより、染織刺繍、教育、国際協力等、様々な視点からブータンを紹介することができた。2018年は第4回を4/29(Zorig Day)にティンプーにて、第5回を5月上旬にタシヤンツェにて、第6回を6/9～10に仙台にて、第7回を7/14～15に宮城県気仙沼市にて開催する予定である。これからも、日本とブータン王国の交流の一助となる活動を草の根から継続したい。

#### 【謝辞】

第1回ブータンフォーラムは、2016年度大分大学教育学部短期プロジェクトとして学部長裁量経費により開催しました。登壇者はじめ参加者、運営スタッフ、会場スタッフ等、多くの方のおかげで開催できました。ブータンでの刺繍展、日本ブータン刺繍協会エンブレム・デザイン・コンテストの開催にはゾーリグ・チュスムの校長ジグミ・ドルジ氏、絵画科教員ツェワン・テンジン氏、他教員、事務方、学生のみならず、日本人参加者、出品者のご協力を得ました。ブータンフォーラムは、科研費の助成を受けた研究成果の発表の場となりました(課題番号:25870561「ブータンにおける衣生活文化の保護と衣服材料生産に関する伝統知識の解明」都甲由紀子)。ここに厚く御礼申し上げます。

#### 【参考資料】

1. ソナム・ダワ, 菊池多絵 編集『日本ブータン刺繍協会エンブレム・デザイン・コンテスト』日本ブータン刺繍協会 発行, 2016年10月。
2. Bluepine ブータン刺繍教室  
<http://www.bluepine.jp/sctop.html>
3. 日本ブータン研究所  
<http://www.bhutanstudies.net>
4. JICA九州  
<https://www.jica.go.jp/kyushu/>
5. 大分大学都甲研究室 Facebook ページ  
<https://www.facebook.com/togolabo/>
6. 日・ブータン外交樹立30周年記念行事一覧(外務省)  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/s\\_sa/sw/bt/page3\\_001533.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sw/bt/page3_001533.html)
7. 第1回ブータンフォーラム  
<https://www.facebook.com/events/1695093134146186/>
8. 【ご報告】第2回ブータンフォーラム  
<http://www.bhutanstudies.net/8891/>
9. 【ご報告】第2回ブータンフォーラムセッション  
<http://www.bhutanstudies.net/8671/>
10. 第2回ブータンフォーラム早稲田大学記事(セッション)  
<https://www.waseda.jp/inst/wavoc/news/2017/06/30/2802>
11. 第2回ブータンフォーラム早稲田大学記事(展示)  
<https://www.waseda.jp/top/news/51905>
12. 第3回ブータンフォーラム  
<https://www.facebook.com/jicakyushu/posts/1568121199912113>



日本・ブータン外交関係樹立30周年記念事業



# 第1回 ブータンフォーラム

2016年10月8日(土)・9日(日) in 別府

ヒマラヤの王国ブータン、  
オフィスで仕事をするときも、学校の制服  
も民族衣装。鉄筋コンクリートの建物に伝  
統建築様式の装飾。なのに、教科書は英語  
で書かれている？

そんなブータンのごときを、伝統文化と教育  
をテーマに考えてみましょう。はじめて  
ブータンに飛ぶ方も、ブータンのごとき  
をちょっと知りたい方も、初秋の別府でお待ち  
しています。

## 第1回 ブータンフォーラムセッション ～あたらしい教育、伝統の継承～

【日時】  
10/9(日) 13:00～15:30

### 【プログラム】

- 菊池幸治  
ブータン刺繍作家、日本ブータン刺繍協会代表理事  
「ブータンの刺繍～絹糸で色づく仏教美術」
- 都甲由紀子  
大分大学教育学部准教授  
「ブータンのラック・カガラムシ染め」
- 平山雄大  
早稲田大学平山郁夫記念ポテンティアセンター  
(WAVOC) 助教  
「ブータンの学校教育政策～歴史と現状～」
- ソナム・パデン 他  
立命館アジア太平洋大学ブータン人留学生  
「ブータンの学校生活」
- 座談会：フリートーク

### \* 参加費無料 \*

ブータン勉強会のみ申し込みが必要です。  
但し、遠征費(電車代・タクシー代)を  
メール本文に記載し、  
平山雄大(hirayama12345@hotmail.com)  
までお申し込みください。

### 《同時開催》 写真パネル展

ブータンで活動する大分  
出身の青年海外協力隊員  
が撮影した写真

お問合せ  
大分大学研究 togoalabo@gmail.com  
日本ブータン刺繍協会 jbea@bluepine.jp

## ブータン刺繍作品 & 日本ブータン刺繍協会 エンブレムデザインコンテスト展

【日時】  
10/8(土) 13:00～17:00  
10/9(日) 10:00～16:30

- 【展示作品】
- \* 日本ブータン刺繍協会  
エンブレムデザインコンテスト応募作品
- \* ブータン刺繍作品
- エンブレムコンテスト応募作品を刺繍したもの
- ブータン刺繍作家菊池幸治氏の作品
- ブータン刺繍教室(東京・仙台)生徒作品

### 《同時開催》 第58回 ブータン勉強会

【日時】  
10/9(日) 10:00～12:00

### 【プログラム】

- ・ 平山雄大  
早稲田大学平山郁夫記念ポテン  
ティアセンター (WAVOC) 助教  
「戦後で見えた1960年代のブータ  
ンと現在の学校教育」
- ・ 都甲由紀子  
大分大学教育学部准教授  
「日本の糸、ブータンの糸  
～天然染色の教材開発～」

主催 日本ブータン研究所

【会場】  
富士屋Gallery一也(はなやちも)  
〒874-0046 大分県別府市 鉄線1-1組  
電話: 0977-66-3251

主催 大分大学研究 togoalabo@gmail.com  
共催 日本ブータン刺繍協会  
ICCA(京)  
後援 大分合同新聞



Commemorative Event of 30th Anniversary of the Establishment of  
Diplomatic Relations between Japan and the Kingdom of Bhutan 2016



# The 1st Bhutan Forum

2016/10/8 (Sat)・9 (Sun) in Beppu



Himalayan Kingdom Of Bhutan,  
The Bhutanees wear their National Dress  
even when going to Office and School. Their  
buildings are made of reinforced concrete  
and they decorate it with traditional  
architectural style. Yet, their textbooks are  
written in English?  
Lets look into such things about Bhutan  
with the theme being Traditional Culture  
and Education. To the people who are  
hearing about Bhutan for the first time and  
to those who are curious to earn more  
about the country, we look forward to  
seeing you in Beppu during early autumn.

## The 1st Bhutan Forum Session ～Modern Education, Inherited Tradition～

【Date】  
10/9 (Sun) 13:00～15:30

### 【Program】

- 13:00～13:30 Kikuchi Tae  
Bhutanese Embroidry Artist, Japan Bhutanese  
Embroidry Association Representative Director  
「Bhutanese Embroidry ～ Buddhist Art drew with  
silk thread」
- 13:30～14:00 Togo Yukiko  
Oita University Faculty of Education Associate  
Professor  
「Bhutan's Lac - Insect Dye」
- 14:00～14:30 Hirayama Takehiro  
Waseda University Ikuo Hirayama Volunteer Center  
(WAVOC) Assistant Professor 「School education policy  
in Bhutan: Its history and current situation」
- 14:30～15:00 Sonam Peden and others  
Student at Ritsumeikan Asia Pacific University from  
Bhutan  
「School life in Bhutan」
- 15:00～15:30  
Round-table Discussion : Free Talk

### \* Participation fee: FREE \*

Only an Application is required for the  
Bhutan Study Group.  
Please e-mail your name, contact(Phone  
number and e-mail Address) to  
Hirayama Takehiro,  
(hirayama12345@hotmail.com).

For Inquiries:  
Oita University Togo Laboratory  
(togo@bluepine.jp)  
Japan Bhutanese Embroidry Association  
(jbea@bluepine.jp)

## Bhutan Embroidry Work & Japan Bhutanese Embroidry Association Emblem Design Competition Exhibition

【Date】  
10/8(Sat) 13:00～17:00  
10/9(Sun) 10:00～16:30

### 【Contents】

- \* Japan Bhutanese Embroidry Association  
Emblem Design Competition Entries
- \* Bhutan Embroidry Work
- Emblem Design contest entries
- Bhutan embroidery artist Kikuchi Tae's work
- Bhutan embroidery class (Tokyo・Sendai)  
student's work

### 《Held at the same time》 58th Bhutan Study Session

【Date】  
10/9(Sun) 10:00～12:00

### 【Program】

- 10:00～11:00 Hirayama Takehiro  
Waseda University Ikuo Hirayama Volunteer  
Center (WAVOC) Assistant Professor  
「A documentary of Bhutan's society and  
school education in 1960s」
- 11:00～12:00 Yukiko Togo  
Oita University Faculty of Education  
Associate Professor  
「Red in Japan and Bhutan～ Development  
of teaching materials, Natural dye-」

Hosted by Japan Bhutan Institute

【Venue】  
Fujitsu Gallery -Hanayamomo  
〒874-0046 Beppu, Oita  
Kannawakami 1, Kumi  
Telephone : 0977-66-3251

Organization:  
Oita University Togo Laboratory  
Co-Host:  
Japan Bhutanese Embroidry  
Association, JICA Kyushu  
Support: Oita godo newspaper  
(jbea@bluepine.jp)

第1回ブータンフォーラムチラシ

第1回ブータンフォーラムチラシ (英語版)



写真1 第1回ブータンフォーラムの様子

**第2回  
ブータンフォーラム  
セッション**

**ブータンから学ぶ、  
ブータンから受け取る**

WAVOC 提供 GEC 設置科目  
「ブータン地域研究」  
公開講座

**2017.05.20  
13:00-16:00**

会場 早稲田大学 3号館 704教室      参加費用 無料  
対象 早大生・教職員・一般      事前申込 不要(先着順・立ち見可)

**13:00-13:30 発表①**  
「エンブレムデザインコンテストの応募作品から読み解く、  
ブータン人の日本への想い」  
菊池 多絵 (ブータン刺繍作家)

**13:30-14:00 発表②**  
「ブータンでの日々  
—伝統工芸学校で学んで—」  
橋本 智美 (日本ブータン刺繍協会会員)

**14:00-14:30 発表③**  
「ブータンにおける少数言語の現状  
—記録、継承、再活性化—」  
西田 文信 (東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)

**14:45-16:00 総括討論**

5月19日(金)~6月1日(木) 10:00-16:00  
第0回ブータンフォーラム 開館 全土日閉館  
(※27号館地下1階 ワセダギャラリー)

早稲田大学 情報センター1F  
〒162-8502 東京都新宿区西早稲田1-4-1  
<https://www.waseda.jp/html/access/waseda-campus>  
・山手線 西武新宿線 高田馬場駅 徒歩20分  
・有楽町線 有楽町線 早稲田駅 徒歩5分  
・丸の内線 西早稲田駅 徒歩17分  
・都電荒川線 早稲田駅 徒歩5分

本館4F  
WAVOC教養 早稲田大 chiryuma@wvci.waseda.jp

**小野梓記念館** (map E-5)

**第2回 ブータンフォーラム**



**5/19(金)~6/1(木) ※日曜閉室 ワセダギャラリー(地下1階)**

ブータンの工芸(刺繍作品等)、文化(染色関係等)、教育(教科書等)に関する展示を通して、ブータンへの理解を深めます。

第2回ブータンフォーラムチラシ

早稲田大学ミュージアムウィーク Web サイト

<https://www.waseda.jp/culture/events/museumweek/>



写真2 第2回ブータンフォーラムの様子



# 幸せとは？ 豊かさとは？

**ブータン展**  
10月14日(土) 13:00~17:00  
15日(日) 10:00~17:00  
場所 iichiko総合文化センター  
地下1階 泉民ギャラリー

**第77回ブータン勉強会**  
10月15日(日) 10:00~12:00  
場所 iichiko総合文化センター  
地下1階 映像小ホール

**第3回ブータンフォーラム**  
10月15日(日) 13:00~15:30  
場所 iichiko総合文化センター  
地下1階 映像小ホール

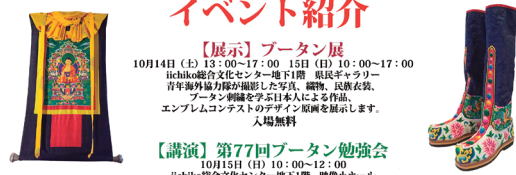
インドのラダックに迫る近代化の波  
映画『**幸せの経済学**』上映会  
10月15日(日) 15:40~17:00  
場所 iichiko総合文化センター  
地下1階 映像小ホール



主催 JICA九州  
共催 日本ブータン研究所  
日本ブータン刺繍協会  
大分大学那甲研究室  
おおい国際交流プラザ  
後援 大分県  
大分合同新聞社



第3回ブータンフォーラムチラシ(表)



## イベント紹介

**【展示】ブータン展**  
10月14日(土) 13:00~17:00 15日(日) 10:00~17:00  
iichiko総合文化センター地下1階 泉民ギャラリー  
青年海外協力隊が撮影した写真、織物、民族衣装、  
ブータン刺繍を学ぶ日本人による作品、  
エンブレムコンテストのデザイン原画を展示します。  
入場無料

### 【講演】第77回ブータン勉強会

10月15日(日) 10:00~12:00  
映像小ホール  
iichiko総合文化センター地下1階 映像小ホール  
司会 平山雄大 氏(日本ブータン研究所)  
『ベクル・カンパジヨ』とブータンの環境志向〜ブータン観光報告を中心に〜  
講師 石内良孝 氏(命題アジア太平洋研究フロンティア学際学生)  
参加費無料 申込制(定員30名)

### 【講演】第3回ブータンフォーラム

10月15日(日) 13:00~15:30  
映像小ホール  
iichiko総合文化センター地下1階 映像小ホール  
『青年海外協力隊として派遣されたブータンでの経験』講師 樋田清仁 氏(青年海外協力隊経験者)  
『ブータン 日国の染織(ラック・アカネ・ヤマボウシ)』講師 那甲紀子 氏(大分大学那甲研究室)  
『エンブレムデザインコンテスト応募作品から読み解く、ブータン人の日本への思い』講師 菊池多紀 氏(日本ブータン刺繍協会)  
参加費無料 申込制(定員30名)

### 【映画】『幸せの経済学』上映会

10月15日(日) 15:40~17:00  
映像小ホール  
iichiko総合文化センター地下1階 映像小ホール  
参加費無料 申込制(定員30名)

今、問われる幸せとは？ 真の豊かさとは？  
人や自然とのつながりを取り戻す暮らし方を探るドキュメンタリー。  
本当の豊かさとは何かを、今こそ考える時ではないでしょうか。  
GDPからGNHへ、グロバリゼーションから、ローカリゼーションへ、  
世界に広がるローカリゼーション運動の背景を、ベーター、ムーバー、ネッジャー、  
人と自然とのつながりを取り戻す、『ローカリゼーション』を伝えます。  
※第77回ブータン勉強会、第3回ブータンフォーラム、映画『幸せの経済学』上映会は  
事前申込が必要となります。参加ご希望の場合は申込書にご記入頂くか、  
Eメールにてお知らせ下さい。電話、FAXでも受け付けております。

#### 【お問い合わせ】

JICAデスク大分(佐保)  
大分県大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター地下1階 国際交流プラザ  
電話: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 Eメール: oita-desk\_saho@friends.jica.go.jp

#### 【申込書】

お名前：  
電話番号：  
Eメール：

参加ご希望のプログラムを○で囲んで下さい。(※複数可)  
第77回ブータン勉強会 ● 第3回ブータンフォーラム ● 『幸せの経済学』上映会



写真3 第3回ブータンフォーラムの様子